



【教育 GP】 杉永先生フィールドワークゼミナール 《JAE (NPO 法人日本教育開発協会)との連携事業》

ドリカムスクール

十三小学校5年生×大和ハウス工業株式会社

テーマ：「100年長持ちする家を考えよう」

本学杉永先生のフィールドワークゼミナールの学生が 12/21・1/12・1/18・1/25・1/29 の全5回に渡り、十三小学校にて行われたドリカムスクールにて授業の企画から実践までを行いました。

大和ハウス工業株式会社から十三小学校5年生に「100年長持ちする家を考えよう」というミッションが与えられ、下記の通りのカリキュラムが行われました。

日時	カリキュラム
12/21	・自己紹介・ドリカム紹介・長持ちする家の説明・大和ハウスについて知る
1/12	・住まいの最新の具体例を知る・大和ハウスさんからのお話（住居を長く大切に使い続けるための工夫・事例）
1/18	・企画を深める
1/25	・プレゼンテーションの準備
1/29	・プレゼンテーション・表彰・学びの振り返り

授業の企画から実践までを行った学生は、まず大和ハウスさんのCSR（企業の社会的責任）についての事前勉強をした上で、小学生が「100年長持ちする家」の企画を考え、発表するまでの支援を行いました。

1日目はぎこちなかった小学生との関係も、最終日の5日目にはすっかりお兄さんの存在として慕われていました。

この取り組みに参加した学生は「小学生の前で働くこと・夢のことを話すことで、自分の夢・将来についても深く考える機会になった」「小学生に配る資料作りに多くの時間を費やし、完成させるまでたくさん話し合いを行った。自分の言いたいことを言えるように成長したと思う」との感想を述べました。

杉永先生フィールドワークゼミナール
企業の社会的責任に関するフィールドワーク型実証研究